

特別活動 - 2〔学校行事〕(第1学年) 体験したことをまとめ、伝え合う力を育成する事例

【学習活動の概要】

1 旅行・集団宿泊的行事 集団宿泊活動を通して新しい仲間との交流を深めよう		
2 目標 第1学年の1学期に実施する平素と異なる環境で行う集団宿泊活動(1泊2日)において、新たな集団の一員として、集団生活の在り方や公衆道徳などについて実践や体験を通して学び合うとともに、共に助け合い協力し合って望ましい人間関係を築こうとする態度を育てる。		
3 評価規準 【集団活動や生活への関心・意欲・態度】 ・共同生活体験に関心を持ち、人間的な触れ合いや信頼関係を深め、自主的、自律的に集団宿泊活動に取り組もうとしている。 【集団や社会の一員としての思考・判断・実践】 ・学年や学級の一員としての自覚を持ち、平素と異なる環境の中で人間関係を深めながら、よりよい集団生活の在り方について考え、判断し、協同して実践している。 【集団活動や生活についての知識・理解】 ・集団宿泊活動の意義や集団生活の在り方、公衆道徳について理解している。		
4 活動の概要 本活動は、中学校へ入学して間もない1年生が、学校の近くに位置する宿泊可能な研修施設での集団活動を通して、集団生活の規律を身に付けるとともに、人間関係を形成する力や協力して諸活動に取り組もうとする態度を育て、絆づくりを行おうとするものである。 活動内容として、人間関係づくりを目的とした非言語によるコミュニケーション活動、飯ごう炊飯、レクリエーション(合唱、群読、大縄跳び、ドッジボール、クイズ大会)などを、班別の活動も取り入れながら行った。		
5 活動の実際 (1)活動の計画		
	主な活動内容	言語活動に関する指導上の留意点
事前の活動	集団宿泊活動の意義や目的について知る。 集団宿泊活動における学級の目標及び個人の目標を設定する。 飯ごう炊飯やレクリエーションの計画、役割分担等について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標を踏まえ、生徒一人一人が自分の言葉で個人の目標を設定した後、班でお互いの目標を発表する場を設定する。 ・一日の反省会において、学級や自己の目標に照らして活動を反省し、自分の言葉で日記に記入するよう助言する。 ・様々な体験活動を通して実感したことを出し合い、これからの集団生活における心構えについてそれぞれの思いを伝え合わせる。
集団宿泊活動	非言語によるコミュニケーション活動や飯ごう炊飯、レクリエーションを計画に沿って協力して行う。	
事後の活動	体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、文章にまとめる。 まとめた文章を基に、集団宿泊活動を通して学んだことや、今後の学級や学校生活の心構えについて伝え合う。	
(2) 学校行事における言語活動 学校行事で重視すべき言語活動は、事前にそのねらいや意義を踏まえて、活動の目標や計画等を話し合って決める活動や、事後に体験を通して感じたり気付いたりしたことを自己と対話しながら振り返り、文章でまとめたり、発表し合ったりする活動などである。中でも、事後の言語活動においては、他者と体験を共有して幅広い認識を得させるとともに、体験を通して学んだことをその後の集団や自己のよりよい生活づくりにつなげていくことが大切である。学校行事を通して、こうした言語活動の充実を図ることにより、表現する力や体験を通して学んだことを伝え合う力等を育成することができる。		

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領第5章特別活動において、第3の2の(3)に「〔学校行事〕については、(中略)幼児、高齢者、障害のある人々などとの触れ合い、自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。」と示されている。

学校行事における様々な体験活動は、思いやりや責任、協同、規律などの社会性や集団行動における望ましい態度を育てるとともに、学校集団としての活力を高め、生徒の学校生活に張りをもたせ楽しく豊かなものにする場であり、学校生活の満足度や楽しさと深く関わっている教育活動である。しかし、せっかくの体験活動も、その場限りの活動で終わらせたのでは十分な教育効果を得ることは難しい。そこで、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり発表し合ったりする言語活動を通して体験を経験に高め、特別活動の内容相互の関連付けを効果的に図りながら、活動後の集団生活を向上させていくようにすることが大切である。

本事例は、このような指導の一環として、中学校に入学して間もない1年生を対象に、集団生活の規律の習得と仲間づくりに重点を置いた集団宿泊活動を行い、体験したことを振り返らせ、これからの学級生活における心構えをまとめ、発表し合うことで、表現する力や伝え合う力の育成を図るとともに、活動後の学級や学校生活に生かそうとする態度の育成を目指したものである。



レクリエーションの様子(クラスが団結し、協同して作り上げた群読や合唱)

【言語活動の充実の工夫】

体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、文章にまとめる活動

集団宿泊活動期間中に実施した反省会の記録や各自の日記を基に、体験活動を通して気付いたことやこれからの学級生活における心構えを文章でまとめさせた。

まとめた文章を基に、集団宿泊活動を通して学んだことなどを伝え合う活動

体験を通して学んだことを、グループ内で互いに伝え合う活動を行った後、学級全体でグループ内で出た代表的な内容を伝え合った。その際、これからの学級生活における心構えについては、大縄跳びやドッジボールなどでみんなが気持ちを一つにして頑張ったことがよい結果に結び付いたこと、よい結果がさらにグループの団結力を高めたことなど、心に残った体験を交えて話をさせたことにより、体験活動の意義を改めて実感するとともに、これからの学級や学校生活における活動意欲を高めることができた。

事前・事後を含む一連の活動を通して、次のような生徒の変容が見られた。

- ・欠席した生徒のために進んで授業のノートをとったり、メッセージを書いたりする姿が見られるようになるなど、学級が個の集まりから学級集団へと成長した。
- ・様々な活動の事前準備の段階で教師に相談にくるなど、見通しを持った行動ができるようになった。

本事例に見られるように、事前・事後指導において言語活動の充実を図ることは、表現力等の育成と併せて、体験活動を通して学んだことをそれ以降の集団生活につなげていく上で効果的である。

この行事で学んだことや感想

このレクリエーションはただみんなが楽しく遊ぶということではなく、みんなで協力してクラスの絆をより深めてこれからの学校生活に生かす場であったと思いました。
この2日間でお達は沢山の事を学びました。もっとも、絆を深めてどんなに難しいことにもチャレンジして乗り越えられる輪をつくっていきたいと思いました。また、学んだことを少しでも生かせるように頑張りたいと思いました。



学級内での発表の様子

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： (分類番号は P5 表参照)